

任務を構成する事業評価

No.	32	担当課	消防署
-----	----	-----	-----

1.任務目的

任務目的	市民の生命、身体、財産の保護とともに、災害による被害の軽減を図り、安心・安全なまちづくりを目指す
------	--

2.任務概要

任務概要	保有する施設や資機材、人員を活用しての災害防除及び、これらの災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行う。
任務の総括	

3.任務目的を構成する事業

事業名(中分類)	災害出動	予算事業番号 (予算事業名)	9.1.1.109031(救急活動事業費) 9.1.1.109032(消防救助活動事業費)
事業(中分類)概要	市内で発生した火災、救急、救助、その他(救急支援等)の各種災害に出動する。		
取組内容・結果等(D)	各種災害等に出動し被害軽減に努めた。 ・令和元年度(4月～3月)の出動状況 火災14件、救急1,652件、救助17件、その他(救急支援、現場確認等)200件 ※参考 ・令和元年(1月～12月)の出動状況 火災16件、救急1,649件、救助20件、その他(救急支援、現場確認等)217件		
課題・問題点等(C)	火災による被害の軽減、出火防止及び増加傾向にある救急出動をはじめとした各種災害に対する活動能力や知識、技術の更なる向上が求められる。		
今後の方向性(A)	安心・安全なまちづくりのために、迅速かつ的確で組織的な活動体制強化を図り、各種災害に対応する。		

事業名(中分類)	情報連絡室業務	予算事業番号 (予算事業名)	
事業(中分類)概要	災害時における現場との無線交信や関係機関への連絡及び深夜等における問い合わせなどに対応する。		
取組内容・結果等(D)	・火災、救急、救助等の災害出動時に、中東消防指令センターや災害現場と情報連絡室(消防本部)間での無線交信によって情報収集を行い活動強化に努めた。また、指令台のデータ(管内地図等)を常に適切な状態に保つために、管内の現地調査を実施してデータ更新を行い活動及び出動体制を整えた。 ・電話による問い合わせや来署者に対応するとともに、24時間体制で災害出動に備えた。		
課題・問題点等(C)	円滑な無線交信及び継続して指令台のデータ更新を行っていく必要がある。		
今後の方向性(A)	今後も緊急出動に備えて、情報連絡体制強化に努める。		

事業名(中分類)	火災予防業務	予算事業番号 (予算事業名)	9.1.1.109033(予防事業費)
事業(中分類)概要	火災の未然防止や被害軽減を図るために、市民や市内の事業所に対して火災予防広報及び防火指導等を実施する。		
取組内容・結果等(D)	・市内の防火対象物90件に立入検査を実施し、防火指導した。 ・花火教室や防火教室、消火訓練などを83回実施して、7,899人に指導した。また、菊川東中学校区の一人暮らし高齢者162世帯に防火PRを実施した。 ・体験型イベント「わくわく消防体験プログラム」を開催し、170人が参加した。 ・消防広報誌「きくしょう119」を作成し、市内全世帯に配布した。 ・年末及び火災予防週間に、市内全域で車両広報を行い、火災予防を訴えた。		
課題・問題点等(C)	市民や事業所における防火意識の高揚を更に推進し、火災の未然防止や被害軽減に努めなければならない。		
今後の方向性(A)	効果的かつ的確な火災予防広報や防火指導等を積極的に実施していく。		

事業名(中分類)	受付、消防機材等の維持管理業務	予算事業番号 (予算事業名)	9.1.1.109032(消防救助活動事業費) 9.1.1.109000(公用車管理費)
事業(中分類)概要	各種届出の受付や予算執行及び消防車両、各種資機材等を適切に維持管理する。		
取組内容・結果等(D)	・消防に関する各種届出や訓練申し込み等の受付、適正な予算執行及び会議等への出席。 ・消防車両・各種資機材の点検整備や更新及び防火水槽、消火栓の点検、維持管理を行い災害に備えた。		

事業管理シート(任務目的)

任務目的	市民の生命、身体、財産の保護とともに、災害による被害の軽減を図り、安心・安全なまちづくりを目指す
課題・問題点等(C)	特殊勤務体系(24時間勤務の3当直)による業務を行っているため、報告、連絡、相談を密にして、署内の連携を図り、遅延やミスなく業務を遂行していく必要がある。
今後の方向性(A)	更なる市民サービス向上に努め業務に取り組んでいく。